

研究課題名：

感染症発生動向調査に基づくエキノコックス症の疫学情報の可視化と環境中におけるエキノコックス遺伝子の検出手法の確立

研究の目的と方法：

エキノコックス症は北海道特有の疾患です。エキノコックス症として診断された場合、医療機関が最寄り保健所に届出をすることになっています。本症は進行病巣の完全切除は困難であり、約 6.5%の感染者が再発し術後の平均死亡率も約 2.2%となっています。そのため、予防対策が極めて重要な疾患です。

本研究では、発生状況の把握のため、感染症発生動向調査の届出を用いて疫学情報の可視化を目指します。加えて、他の研究機関において確立されている検出方法を参考に土壌等の環境中からエキノコックス遺伝子の検出法を検討し、確立して導入を目指します。

得られた研究の成果を報告書、学術雑誌、学会などへの発表に使用しますが、お名前や生年月日など個人が特定できるような情報が公開されることは一切ありません。
また、対象となる患者様への不利益や介入もありません。

北海道に住む皆様の安全・安心に寄与できるよう、私ども北海道立衛生研究所が主体となって感染症対策に取り組んでまいりますので、何とぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

研究の対象者及び対象期間：

令和 9 年（2027 年）3 月 31 日の研究終了以前に、エキノコックス症患者として届出されている者を対象とします。

研究に利用する情報：

感染症発生動向調査より届出データを抽出し、疫学情報等を解析に用います。マップデータの可視化の際、個人の住所ではなく、管轄保健所を中心としたバブルチャートやヒートマップ等の表現方法を使用することで、個人の特定につながらない利用をします。

研究機関：

北海道立衛生研究所

情報の管理について責任を有する者：

情報の管理：感染症疫学部 サーベイランスグループ 研究職員 高津 祐太

利益相反について：

本研究に関連し、開示すべき利益相反状態にある企業等はありません。

お問い合わせ先：

北海道立衛生研究所

高津 祐太

〒060-0819 北海道札幌市北区北 19 条西 12 丁目

TEL：011-747-2707 FAX：011-737-9476